

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34107	情報サービス演習Ⅱ Information Retrieval Ⅱ	江良 友子	専門	1	選択	1・2年 後期
科目の概要						
図書館の情報サービスの実際や各種情報源について知り、課題を出題して演習を行う。図書館の専門職である司書として必要な力、具体的には、利用者の質問に対するレファレンスサービスと情報検索サービス、積極的な発信型情報サービスの演習を通して、実践的で専門的能力と技能を身につける。						
学修内容			到達目標			
① レファレンスツール(レファレンスブック)の使い方を理解する			① レファレンスブックの使用方法を理解し、使用することができる			
② インターネット上のレファレンスツール(Web)の使い方を理解する			② Web 情報源の活用の仕方を理解し、レファレンス回答に使用することができる			
③ 実践的なレファレンス問題を解く			③ 授業で学んだ各種ツールを使用して、基本的な演習課題に回答することができる			
④ パスファインダー作成を通じて、発信情報型サービスを理解する			④ パスファインダーの特性を理解し、パスファインダーを作成することができる			
⑤ カウンターにおけるコミュニケーションの重要性について学ぶ			⑤ コミュニケーションの重要性を意識しながら簡単なレファレンス受理・回答ができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	自主的に大学図書館、公共図書館へ足を運ぶことができる				
	働きかけ力					
	実行力	大学図書館や公共図書館のレファレンスを利用できる				
考え抜く力	課題発見力	疑問に思ったことを、各種情報利用によって解決し、解決へつなげることができる				
	計画力	多くの課題をこなすために、計画性をもって期日までに終了させることができる				
	創造力	様々なレファレンス事例を調べ、自分のレファレンス回答の参考にすることができる				
チームで働く力	発信力	レファレンス課題について、わかりやすくまとめることができる				
	傾聴力	他者が調べたレファレンス回答方法に興味を持ち、感想やアドバイスを述べるることができる				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	決められた期日までに課題を提出することができる				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし。講義用レジュメおよび必要に応じて追加資料を配付する。 必要に応じて視聴覚資料を使用する。 参考文献:授業の中で紹介する。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:図書館に関する科目全て 特に情報サービス論 資格との関連:図書館司書						
学修上の助言			受講生とのルール			
前期開講の「情報サービス論」の授業を受けていないと、理解することが難しい授業内容であるため、情報サービス論未履修者は事前に相談に来ること。 ほぼ毎回、課題を出します。授業に出ていないと課題への対応が難しいので欠席しないこと。			遅刻・欠席は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに、欠席分の配布資料を取りに来ること。 欠席した場合でも課題提出は必須です。必ず指定された期限までに提出すること。期限が過ぎたものは受け取りません。 提出する課題は、次回授業日に集め返却しません。必ずコピーをとり、同日行う答合わせに備えること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	60	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ⑤ ✓	課題を12回分提出する。 各回の評価方法 指定のレファレンスツールを使用して正確な回答ができている:5点 指定のレファレンスツールを使用しているが、正確な回答できていない:4点 指定のレファレンスツールが使用されていないが回答できている:3点 指定のレファレンスツールが使用されておらず、正確な回答できていない:2点 提出はされたが空欄が多い。又は書いてあることの意味が不明:1点 提出されなかった:0点
成果発表 (口頭・実技)			
作品	30	① ② ③ ④ ✓ ⑤	パスファインダー作成(期日までの提出が最低条件) 評価方法(各10点) ・パスファインダーの要件を満たしている ・課題作成条件を満たしている ・利用対象に合わせた見やすさが工夫されている
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ⑤	『夜明けの図書館』1～4 埜納タオ を読んで、レファレンスについて学んだことを授業の中で全員が各回に分かれて発表する。 この課題について、以下7つの学修態度を評価する。 (主体性) 自分に割り当てられた巻以外も自主的に『夜明けの図書館』を読むことができる (実行力) 話の中に出てくる資料や事例について、実際に確認することができる (課題発見力) 『夜明けの図書館』に出てくる事例を、現実の図書館で行われているレファレンスと比較することができる (創造力) 話の中に出てくる資料や事例について、別の資料・回答方法を考えることができる (発信力) 自分の割り当て以外についても、意見を言うことができる (傾聴力) 他者の発表について意見や感想を述べることができる (規律性) 割り当てられた日までに発表をまとめることができる
その他			
総合評価 割合	100		レポート、作品、学修態度の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<p>S(秀)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題12回分の合計点が54点以上獲得できている ・作品評価の合計が27点以上獲得できている ・社会人基礎力の7項目が達成できている <p>A(優)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題12回分の合計点が48点以上獲得できている ・作品評価点24点以上獲得できている ・社会人基礎力の7項目のうち6項目以上達成できている 	<p>B(良)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題12回分の合計点が42点以上獲得できている ・作品評価点21点以上獲得できている ・社会人基礎力の7項目のうち5項目以上達成できている <p>C(可)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題12回分の合計点が36点以上獲得できている ・作品評価点18点以上獲得できている ・社会人基礎力の7項目のうち4項目以上達成できている、或は、達成までには至らないがよく努力している

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 情報サービスとは？ 情報サービスの設計	講義と質疑応答	情報サービスとは何か、言うことができる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)愛知学泉短期大学図書館の情報サービスのサービスポイントについて評価しなさい。	60	規律性 傾聴力
2週 /	レファレンスコレクション レファレンスコレクションと問題 解決過程 レファレンスコレクションの評価	課題提出・発表 講義と質疑応答 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 レファレンスコレクションの評価法について理解できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)住んでいる自治体の図書館に、ミッションステートメントやサービス方針がウェブサイト上で公開されているか調べる。	90	規律性 傾聴力 主体性 発信力
3週 /	言葉・文字に関する情報源の評価 事象・事項に関する情報源の評価	課題提出・発表 講義と質疑応答 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 事象・事項に関する情報源の評価法について理解できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)各自指定された資料の解題作成と評価をする。四角合 碼索引とはどのようなものか調べる。	90	規律性 傾聴力 主体性 発信力
4週 /	歴史・日時に関する情報源の評価 地理・地名に関する情報源の評価 人物・団体に関する情報源の評価	課題提出・発表 講義と質疑応答 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 地理・地名に関する情報源の評価法について理解できる。 人物・団体に関する情報源の評価法について理解できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)『角川日本地名大辞典』(角川書店)と『日本歴史地名大系』(平凡社)それぞれから、同じ県(都・道・府)の巻を選んで、比較して、気づいたことを書きなさい。	90	規律性 傾聴力 主体性 発信力 実行力 課題発見力
5週 /	文献検索用情報源の評価 書誌・目録の評価 記事索引の評価	課題提出・発表 講義と質疑応答 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 書誌・目録の評価について理解できる。 記事索引の評価について理解できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)地域に関する複数の新聞記事の見出しを検索できるウェブ情報源のうち、町村立図書館によって提供されるものを探し、特徴を記述しなさい。	90	規律性 傾聴力 主体性 発信力 実行力 課題発見力
6週 /	レファレンスプロセスの概要とレファレンス質問の種類 レファレンスインタビューの方法・戦略	課題提出・発表 講義と質疑応答 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 レファレンスインタビューの方法について理解できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)レファレンスインタビューをするうえで重要なことをまとめる。	90	規律性 傾聴力 主体性 発信力 実行力 課題発見力
7週 /	言葉・事象に関する情報の調べ方	課題提出・発表 講義と質疑応答 レファレンス課題5題 に 取り組む。 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 言葉・事象に関する情報の調べるために、どの情報源を使用したらいかがわかる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)授業で行った課題を仕上げる。	120	規律性 傾聴力 主体性 発信力 実行力 課題発見力
8週 /	歴史・日時に関する情報の調べ方	課題提出・発表 講義と質疑応答 レファレンス課題5題 に 取り組む。 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 歴史・日時に関する情報の調べるために、どの情報源を使用したらいかがわかる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)授業で行った課題を仕上げる。	120	規律性 傾聴力 主体性 発信力 実行力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	地理・地名に関する情報の調べ方	課題提出・発表 講義と質疑応答 レファレンス課題5題に取り組む。 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 地理・地名に関する情報の調べるために、どの情報源を使用したらいいかわかる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)授業で行った課題を仕上げる。	120	規律性 傾聴力 主体性 発信力 実行力 課題発見力
10週 /	人物・団体に関する情報の調べ方	課題提出・発表 講義と質疑応答 レファレンス課題5題に取り組む。 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 人物・団体に関する情報の調べるために、どの情報源を使用したらいいかわかる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)授業で行った課題を仕上げる。	120	規律性 傾聴力 主体性 発信力 実行力 課題発見力
11週 /	図書・雑誌の書誌データの調べ方	課題提出・発表 講義と質疑応答 レファレンス課題5題に取り組む。 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 図書・雑誌の書誌データの調べ方がわかる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)授業で行った課題を仕上げる。	120	規律性 傾聴力 主体性 発信力
12週 /	発信型情報サービスの意義と方法 パスファインダーなどの新しい発信型情報サービスの意義と方法を学ぶ	課題提出・発表 講義と質疑応答 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 パスファインダーなどの新しい発信型情報サービスの意義を理解し、パスファインダーの作成に着手できる。	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)パスファインダー作成準備のために公共図書館でパスファインダーを入手する	90	規律性 傾聴力 主体性 発信力
13週 /	パスファインダーを作成する	演習	パスファインダーが作成できる。	(宿題)パスファインダーを仕上げる。	120	規律性 傾聴力 主体性
14週 /	図書館利用教育 図書館利用教育と情報リテラシーについて学ぶ	講義と質疑応答 演習	図書館利用教育、情報リテラシー育成について理解することができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)図書館利用案内を公共図書館で入手する	60	規律性 傾聴力 主体性 発信力
15週 /	提出されたパスファインダーの紹介 情報サービス演習Ⅱを振り返って	講義と質疑応答	自分の作成したパスファインダーについて、改善点を言うことができる	(復習)第1～14回授業で配布した資料と取り組んだ課題を読み返す。	60	規律性 傾聴力 主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力